

授業科目	子どものためのピアノⅡ				単位	1		
履 修	選択	関連資格	幼二種免 保育士		ナンバリング	CH31330J		
開講年次	1	開講時期	後期	該当DP	DP5-2			
担当教員	山路 麻佳、本多 一江、吉富 淳子、加藤 愛子(保育)、飯田 知津子、山本 朝子							
授業概要	<p>授業はグループに分かれて個別レッスンの形態で行う。</p> <p>「子どものためのピアノⅠ」で習得したピアノ演奏の基礎をもとに、各自の習熟度に合わせて表現豊かに演奏することができるよう、様々な音楽要素を学び技術の向上を目指す。保育の現場でよく用いられている曲を自分に合った伴奏形で弾き歌いの演奏ができるよう実践的に学ぶ。</p> <p>また、1年生前期科目「子どものためのピアノⅠ」の単位を修得できなかった学生については、これまでに到達した課題曲の続きからレッスンを開始し、当科目において「子どものためのピアノⅠ」の履修曲の確実な習得を目指す。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 楽譜に記載されている音楽要素を正しく理解し演奏することができる。 2. 弾き歌いにて演奏する力を身につけることができる。 3. 適切なテンポで歌詞の内容や楽譜に記載されている強弱記号・発想記号をもとに、保育現場で活用することを前提とした表現力豊かな演奏をすることができる。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	0	50	0	50	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)				50		50	100	
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
『大学ピアノ教本』No.90(バイエル 100 番)以上の曲や様々な伴奏形態による弾き歌い、マーチ曲を適切なテンポや正しいリズムで演奏することができる。保育現場で必要となる子どもの歌を、適切なテンポで歌詞の内容や楽譜に記載されている強弱記号・発想記号をもとに、保育現場で活用することを前提とした表現力豊かな演奏をすることができる。				『大学ピアノ教本』No.90(バイエル 100 番)程度の曲や様々な伴奏形態による弾き歌い、マーチ曲を適切なテンポや正しいリズムで演奏することができる。正しく楽譜を理解し、保育の現場で必要となる子ども歌を、適切なテンポで楽譜通りに弾き歌いにて演奏することができる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)

1	<p>テーマ:オリエンテーション(全教員) 授業概要について説明する テーマ:各自の進度に合わせた個別レッスン1 教本 No.69 弾き歌い「とんぼのめがね」</p>	各自の進度に合わせて個別レッスンを行う	前期終了時の自らの履修状況を踏まえ、担当教員から指定される課題曲の演奏について予習・復習を行う。楽譜上の記号・用語について不明なものは事前に調べておく。	90
2	<p>テーマ:各自の進度に合わせた個別レッスン2(全教員) 教本 No.70 弾き歌い「まつぼっくり」「雪」</p>	各自の進度に合わせて個別レッスンを行う	自らの履修状況を踏まえ、担当教員から指定される課題曲の演奏について予習・復習を行う。楽譜上の記号・用語について不明なものは事前に調べておく。	90
3	<p>テーマ:各自の進度に合わせた個別レッスン3(全教員) 教本 No.72 弾き歌い「水あそび」</p>	各自の進度に合わせて個別レッスンを行う	自らの履修状況を踏まえ、担当教員から指定される課題曲の演奏について予習・復習を行う。楽譜上の記号・用語について不明なものは事前に調べておく。	90
4	<p>テーマ:各自の進度に合わせた個別レッスン4(全教員) 教本 No.74 弾き歌い「おかえりのうた」</p>	各自の進度に合わせて個別レッスンを行う	自らの履修状況を踏まえ、担当教員から指定される課題曲の演奏について予習・復習を行う。楽譜上の記号・用語について不明なものは事前に調べておく。	90
5	<p>テーマ:各自の進度に合わせた個別レッスン5(全教員) 教本 No.76 弾き歌い「かわいいかくれんぼ」</p>	各自の進度に合わせて個別レッスンを行う	自らの履修状況を踏まえ、担当教員から指定される課題曲の演奏について予習・復習を行う。楽譜上の記号・用語について不明なものは事前に調べておく。	90
6	<p>テーマ:各自の進度に合わせた個別レッスン6(全教員) 教本 No.78 弾き歌い「思い出のアルバム」</p>	各自の進度に合わせて個別レッスンを行う	自らの履修状況を踏まえ、担当教員から指定される課題曲の演奏について予習・復習を行う。楽譜上の記号・用語について不明なものは事前に調べておく。	90
7	<p>テーマ:各自の進度に合わせた個別レッスン7(全教員) 弾き歌い「山の音楽家」「おおきなたいこ」 マーチ曲「ジャバマーチ」</p>	各自の進度に合わせて個別レッスンを行う	自らの履修状況を踏まえ、担当教員から指定される課題曲の演奏について予習・復習を行う。楽譜上の記号・用語について不明なものは事前に調べておく。	90
8	<p>テーマ:各自の進度に合わせた個別レッスン8(全教員) 教本 No.81 弾き歌い「お正月」「ぞうさん」</p>	各自の進度に合わせて個別レッスンを行う	自らの履修状況を踏まえ、担当教員から指定される課題曲の演奏について予習・復習を行う。楽譜上の記号・用語について不明なものは事前に調べておく。	90
9	<p>テーマ:各自の進度に合わせた個別レッスン9(全教員) 教本 No.84 弾き歌い「一年生になったら」</p>	各自の進度に合わせて個別レッスンを行う	自らの履修状況を踏まえ、担当教員から指定される課題曲の演奏について予習・復習を行う。楽譜上の記号・用語について不明なものは事前に調べておく。	90

10	テーマ:各自の進度に合わせた個別レッスン 10(全教員) 教本 No.85 弾き歌い「たなばたさま」「あくしゅでこんにちは」	各自の進度に合わせて個別レッスンを行う	自らの履修状況を踏まえ、担当教員から指定される課題曲の演奏について予習・復習を行う。楽譜上の記号・用語について不明なものは事前に調べておく。	90
11	テーマ:各自の進度に合わせた個別レッスン 11(全教員) 教本 No.89 弾き歌い「おはようのうた」	各自の進度に合わせて個別レッスンを行う	自らの履修状況を踏まえ、担当教員から指定される課題曲の演奏について予習・復習を行う。楽譜上の記号・用語について不明なものは事前に調べておく。	90
12	テーマ:各自の進度に合わせた個別レッスン 12(全教員) 弾き歌い「まめまき」「こいのぼり」「しゃぼんだま」	各自の進度に合わせて個別レッスンを行う	自らの履修状況を踏まえ、担当教員から指定される課題曲の演奏について予習・復習を行う。楽譜上の記号・用語について不明なものは事前に調べておく。	90
13	テーマ:各自の進度に合わせた個別レッスン 13(全教員) 教本 No.90 弾き歌い「おつかいありさん」	各自の進度に合わせて個別レッスンを行う	各自の課題曲について復習し、次回の演奏実技発表へ向けて準備を行う。	90
14	テーマ:各自の進度に合わせた個別レッスン 14(全教員) 弾き歌い「小鳥のうた」「うれしいひなまつり」	各自の進度に合わせて個別レッスンを行う	各自の課題曲について復習し、次回の演奏実技発表へ向けて準備を行う。	90
15	テーマ:各自の進度に合わせた個別レッスン 15(全教員) 課題曲の演奏発表と授業のまとめ	指定する課題曲の演奏発表と授業のまとめを行う	当科目の振り返りをもとに自らの課題を明らかにした上で、次の「こどものうたと伴奏法Ⅰ」の履修へ向けた準備を開始する。	90
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				

30				
理解に必要な予備知識や技能	事前にテキストに目を通し、歌詞の内容や記号・用語の意味について理解しておくこと。また、「子どものためのピアノⅠ」で習得したことを踏まえて、様々な伴奏形態での弾き歌いの演奏技能を身につけていけるように各自で練習を始めておくこと。			
テキスト	『大学ピアノ教本』教育芸術社 小林美実『こどものうた 100』チャイルド本社			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	「マーチ」等のプリント(楽譜)を各自の進度に合わせて適宜配布する。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	「子どものためのピアノⅠ」と同様に毎日の練習の積み重ねが大切です。毎回の授業の予習・復習として毎日30分以上の練習が望ましいですが、少なくとも1週間で合計90分以上の練習に取り組むよう心がけましょう。 個人レッスン形式で一人ひとりに合わせて進めていきます。なるべく欠席することがないように取り組みましょう。			
達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	発表の内容等については授業内において伝達します。 「その他」の評価については、日頃の課題へ取り組む姿勢(練習)や授業時の態度について評価します。			